

NMCM News



独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター広報誌

No.115
2023年11月号
TAKE FREE

ご自由にお取り下さい



写真：名古屋市美術館(名古屋市中区/芸術と科学の杜・白川公園内)

- | | | |
|-------------|--|----|
| ■ 巻頭言 | 「おくすりシート」のリサイクル 薬剤部長 吉田知由 | 2p |
| ■ ドクターよもやま話 | 蓄膿症について 耳鼻咽喉科医長 寺西正明 | 3p |
| ■ 職場紹介 | 東8階病棟／企画課(医事) | 4p |
| ■ トピックス | オンライン予約システム(C@RNA Connect:カルナコネクト)について | 5p |
| ■ 医療最前線 | HER2検査 病理診断科医長 西村理恵子 | 6p |
| ■ 連携医療機関紹介 | 上飯田泌尿器科内科クリニック | 7p |



巻頭言



吉田知由
薬剤部長

「おくすりシート」のリサイクル

今年の夏は、10年に1度程度の猛烈な暑さで連日危険な暑さに対する熱中症への警戒を呼びかけていました。この異常気象は、日本だけではなく世界的な傾向であり国連の事務総長は「地球は沸騰化の時代」に入ったと述べていました。また、それを象徴するように世界各地で熱波の影響とみられる山火事が頻発しました。科学者らは、こうした過剰な暑さは主に化石燃料の使用と関連しているという意見で一致しており人間による化石燃料使用からの排出が、現在の温暖化の原因であると確信しています。

環境問題を考えるときに思い浮かぶ言葉のSDGsは、持続可能な開発のために国際社会が進むべき方向の道しるべとして、「17の目標（ゴール）」と「169のターゲット（具体目標）」を掲げています。その目標の中には「つくる責任、つかう責任」があります。ターゲットとして「2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。」となっており多くの企業に取り組んでいます。

医薬品業界では、一部の製薬企業が使用済みの「おくすりシート」を回収・リサイクルする生活者参加型プログラムの実証実験を地区限定（横浜市のみ）で開始しました。

「おくすりシート」は医薬品包装資材として必要不可欠である特性から削減が難しく、今後も高齢化の進展に伴い使用量の増加が見込まれることから、「おくすりシート」がリサイクル資源であることの生活者認知を高め、資源として循環する仕組みを確立することを目的としています。

「おくすりシート」は防湿性、強度、取りだし易さ、遮光性、経済性などを考慮して作られておりプラスチックの一種のポリ塩化ビニルという素材とアルミ箔の組み合わせが主流となっています。日本国内で年間約1万3000トン生産されており、使用済みのものはアルミニウムとプラスチックに分離してそれぞれリサイクルすることができますとされています。

「おくすりシート」は食品の包装のように汚れがないので洗う必要がなく、リサイクルに適した状態といえますが、薬が残っている状態では回収できません。処方された薬は指示された用法用量で正しく服用し、飲み残しがある場合は「かかりつけ薬局」で残薬調整することができます。今後は、効率よく回収・リサイクルするプログラムが全国に広がることを期待しています。



ドクター よもやま話



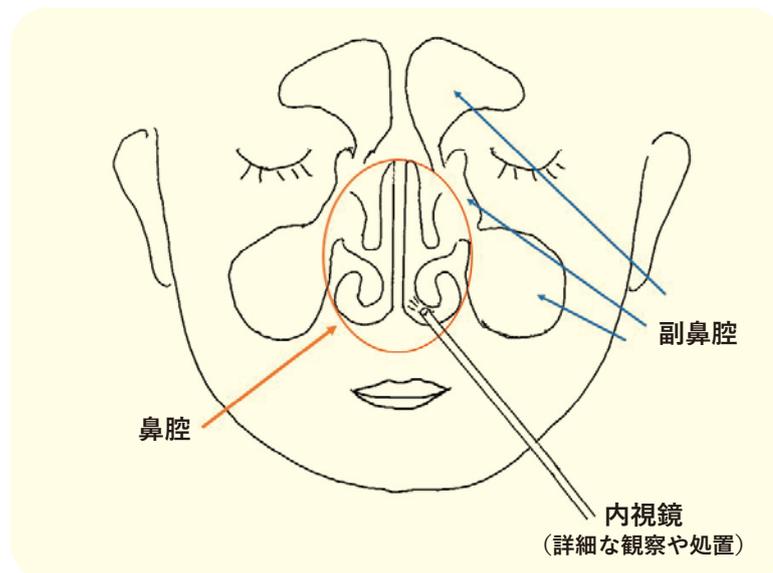
寺西 正明

耳鼻咽喉科医長

蓄膿症について

耳鼻科で一般的な病気として昔からよく知られているものに、蓄膿症があります。蓄膿症は色のついた鼻水や鼻づまりが長期につづく病気です。医学用語では慢性副鼻腔炎といいます。図のように鼻（鼻腔）の周りに、鼻とつながる空洞があり副鼻腔といいます。慢性副鼻腔炎は長期にわたり副鼻腔に炎症がつづく状態です。大府市の国立長寿医療研究センターで行われた研究ですが、地域住民対象にMRIを撮影しそこから確認できた副鼻腔炎の罹患率から推計すると、全国で500万人（男性300万人、女性200万人）が副鼻腔炎に罹患していると考えられます。耳鼻科の外来診察では胃カメラを小さくしたようなやわらかい内視鏡で、鼻の奥を観察しますが、副鼻腔炎の患者さんでは膿（うみ）やポリープを認めます。鼻ポリープのことを鼻茸（はなたけ）と呼びます。なかなか治らない副鼻腔炎に対しては手術を行います。かつては歯茎のところを切って頬部の粘膜を持ち上げ骨を削り副鼻腔に入り炎症で腫れた粘膜を切除する手術を長く行ってきましたが、今から30年ほど前に内視鏡が手術に導入されま

した。手術で使う内視鏡は図のように真っすぐの固いもので先端が斜めになっているものもあり、すべての副鼻腔を確認できるようにして手術操作を行います。現在では歯茎を切ることなく鼻からポリープを切除して副鼻腔との交通路を確保するような手術を行っています。副鼻腔炎は、従来の膿がたくさん出るような細菌感染主体のものから、喘息も合併するような炎症の強い副鼻腔炎が多くなってきました。この近年増えているタイプの副鼻腔炎のことを好酸球性副鼻腔炎と呼びます。内視鏡の副鼻腔の手術を受けてもしばしば再発し、一定の診断基準と重症度を満たすと指定難病に認定され医療費の補助を受けられます。好酸球性副鼻腔炎はにおいが弱くなることが多い特徴もあります。手術のあと再発するような難治の好酸球性副鼻腔炎に対しては新たな抗体製剤という薬物治療も選択できるようになりました。鼻水、鼻づまり、においの弱りが長く続いている方は一度お近くの耳鼻科に受診されるとよいと思います。



東8階病棟

東8階病棟は、呼吸器内科・呼吸器外科の混合病棟であり、呼吸器疾患の急性期（周手術期含む）・回復期・慢性期・終末期とあらゆる時期の患者を対象としています。代表的な疾患は、肺がん・気胸・肺炎（間質性肺炎、誤嚥性肺炎）・気管支喘息・COPD・肺気腫などであり、特にがん拠点病院としての役割を担うため肺がん治療（手術療法、化学療法、放射線療法、治験）や、内視鏡的治療である気管内ステント術も多く行っています。生命維持装置である人工呼吸器を使用する患者も多く、呼吸サポートチームと連携し、安全な人工呼吸器管理と離脱に努め、呼吸苦やがん性疼痛で苦しめる方に安楽な看護を提供しています。近年では、在宅に移行する方も多いため地域連携スタッフと協働し在宅支援を踏まえた看護を行っています。若いスタッフが多い病棟ですが、元気をモットーに、スタッフ一丸となって患者さんの思いに寄り添った看護に努めています。



企画課（医事）

企画課（医事）は、主に、病院の経営、診療に関わる業務を担当する部署です。

病院の経営に関する業務としましては、中長期計画及び年度計画の策定、各種経営指標の分析、経営改善の企画立案を行っています。診療に関する業務としましては、患者様の受付・診療費の算定、診療報酬明細書（レセプト）の作成・請求、施設基準の届出、難病等の指定に関する事務手続きを行っています。

また、企画課（医事）には、診療情報管理士が在籍しております。診療情報管理士は電子カルテから得られる診療情報を国際疾病分類（ICD10）等に基づいて分析、収集及び管理を行うとともに、診療から得られるデータベースを基に、院内の医療者のニーズに沿った診療情報を提供する役割も担っています。

今後も院内の各診療科、看護部をはじめとした各部門との情報共有と連携を図りながら、患者様への診療のサポート及び地域の医療機関様との連携のサポートを行っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。



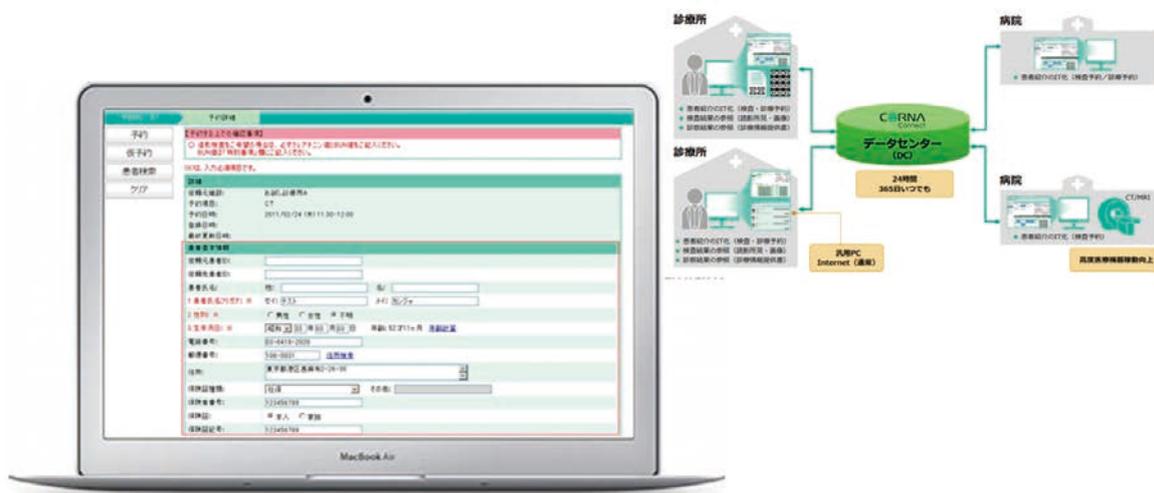
オンライン予約システム (C@RNA Connect : カルナコネクト) について

名古屋医療センターでは、令和5年7月19日（水）より、地域の診療所様との連携強化のため、インターネットを利用したオンライン予約システム（C@RNA Connect）を導入いたしました。本サービスにご登録いただけますと、土日祝を含めた24時間365日、いつでも受診予約・検査予約が可能となります。予約システムを利用しても料金はかかりません。ぜひご利用ください。

※これまで通り、FAXからのご予約も可能です。

※予約・予約の変更・キャンセルは診療所様からお願いします。

✓初診の受付・診療順は予約された初診の患者様を最優先としています。



〈予約可能な診療科〉

消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、内分泌・糖尿病内科、血液内科、腫瘍内科、膠原病内科、リウマチ科、脳神経内科、もの忘れ外来、緩和ケア内科、消化器・一般外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科・脊椎センター、小児科（アレルギー、循環器、神経、外科）、眼科、産科婦人科、耳鼻いんこう科・頭頸部外科、皮膚科、泌尿器科、放射線治療科、歯科口腔外科

〈予約可能な検査予約〉

単純CT、単純MR、RI（アイトープ）、PET-CT、骨密度、冠動脈CT

（当院の放射線科医師による読影レポート及び画像CDを検査実施日の翌々診療日を目途に連携医療機関様に発送するとともに、郵送後、読影レポートをC@RNA Connectからご確認いただけます。）

ご不明な点は、

当院ホームページ（<https://nagoya.hosp.go.jp/byoshinsys/online-yoyaku/>）

または、地域医療連携室にお問い合わせください。

◆地域医療連携室（電話：052-951-1206 / FAX：052-951-1207）



医療最前線



西村理恵子

病理診断科医長

HER2検査

みなさまは「病理部門」をご存じですか？「病理部門」では、診断目的に病気の臓器から採取された臓器の一部や細胞が、どのような状態であるかを顕微鏡で診断しています。これを「病理診断」といいます。「病理診断」以外にも「病理部門」が関わっている仕事があります。そこで、「病理診断」以外で「病理部門」が関わっている仕事の一つである「HER2検査」について紹介します。

まず、がんの治療薬の一つに「分子標的薬」があります。「分子標的薬」は、がん細胞の増殖に関わるタンパク質や、栄養を運ぶ血管、がんを攻撃する免疫に関わるタンパク質などを標的にしてがんを攻撃する薬です。「分子標的薬」の標的になるタンパク質や、そのタンパク質を作らせる遺伝子の変化の有無を「バイオマーカー検査」で調べることがあります。「バイオマーカー検査」の結果により、その「分子標的薬」がその患者さんに使用できるかどうかを判断します。「バイオマーカー検査」の判定に「病理部門」が関わっています。

「病理部門」が関わっている「バイオマーカー検査」の一つに「HER2検査」があります。「HER2検査」には、がん細胞表面のHER2タンパク質の量を調べる検査とHER2タンパク質を作るもととなる遺伝子の数を調べる検査があります。「HER2検査」は、HER2タンパク質を細胞表面に多く持つがん細胞に結合して効果を発揮する「分子標的薬」が使用できるタイプのがんかどうかを調べる検査です。HER2タンパク質に対する「分子標的薬」は、乳がんを対象に20年ほど前から使用されていますが、現在は、胃がん、大腸がん、唾液腺がん、肺がん等

でも使用できるようになっています。

名古屋医療センターでは、HER2タンパク質の量を調べる検査とHER2遺伝子の数を調べる検査の両方を院内で行っています。いずれの検査も、染色された標本を顕微鏡で観察し、がん細胞表面のHER2タンパク質の量やがん細胞核内のHER2遺伝子の数を計測します。計測結果は計測者によりばらつきがあることが知られていますので、計測者間のばらつきが最小限になるように、当院では複数の計測者が行うことにしています。計測者間で計測結果がばらついた場合は、複数の人が同時に使用できる顕微鏡を用いて、結果を検討した後に報告しています。

「病理部門」で行っている「HER2検査」について簡単に説明し、当院での検査態勢について紹介しました。

【参考】

がん情報サービス，診断と治療，薬物療法

https://ganjoho.jp/public/dia_tre/treatment/drug_therapy/index.html

(2023年9月29日閲覧)



連携医療機関紹介



上飯田泌尿器科内科クリニック



院長
平林崇樹

上飯田泌尿器科内科クリニックは2015年10月に北区八龍町に開院しました。

泌尿器科領域全般の診療に加え、「住み慣れた地域での療養を継続したい」などの地域のニーズにお応えする、何でも相談に乗ることのできる総合的な診療所を目指してきました。

確実な診断ができるようマルチスライスCTを装備し、各診察室にもエコー診断装置を設置し、必要な検査が迅速に行えるようにしています。また苦痛が少ない軟性内視鏡を使用し、より専門的な治療、検査が必要と判断すれば、名古屋医療センターをはじめとする高次医療機関などへ橋渡しを行っています。

当院では必要な人に必要な時に適切な医療が提供できるよう、受診は緩やかな予約制としていて、診療時間内であれば、予約がなくても受診できるような体制をとっています。開設以来多くの患者さんに利用していただき、また予約が緩いこともあり、診察待ち時間が増えていましたが、本年8月より、年内は月木金土曜日、年明けからは月曜日から土曜日までの毎日、二人の医師が診療にあたる体制とし、できるだけ待ち時間を減らすようにしています。

また、病気を抱えている患者さんが少しでも和んで待ち時間を過ごせるよう、待合室には暖色系を基本とした明るい部屋を用意していま

す。院内に心理相談室を併設し、心理カウンセラーを常置し、心のケアにも取り組んでいます(相談には予約が必要)。

私たちは個々の臓器の治療だけではなく、からだと心、そして社会的背景も含めて考え、地域の患者さんが安心、納得できるような医療を心がけています。



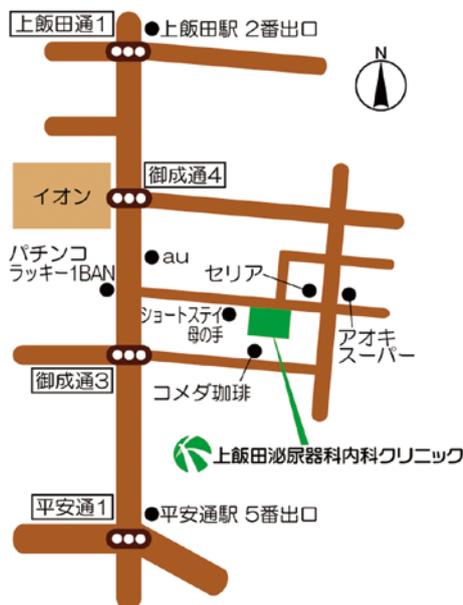
待合室

上飯田泌尿器科内科クリニック

院長：平林崇樹
所在地：〒462-0805 名古屋市北区八龍町1-5-6
電話：052-325-2411
診療科：泌尿器科・内科
診療時間：午前9:00-12:00、午後16:00-19:00
土曜は午前のみ、土曜午後・日曜・祝日は休み
URL：<http://kamiida.com/>



マルチスライスCT



外来診療担当表

令和5年11月1日現在

診療科		月	火	水	木	金	
内 科 (2階)	受付A 消化器内科	1診	平嶋	平嶋	島田	島田	恒川
		2診	齋藤	村山	村山	浦田	宇仁田
		3診	浦田	齋藤	近藤尚	藤田(1・3・5週) 田中(2・4週)	交代制(初診)
		4診	交代制(初診)	交代制(初診)	交代制(初診)	交代制(初診)	
	受付A 呼吸器内科	4診					渡邊
		5診	佐野	沖	篠原(午前) 山田有/ 鳥居(午後)	石井 (初診)	沖
		6診	鳥居厚(午前) 小暮(午後)	山田有(午前) 篠原(午後)	小暮(初診)	北川	小暮(午前) 丹羽(午後)
		7診	沖/ 篠原(初診)	丹羽 佐野(初診)	丹羽		山田有/ 鳥居厚(初診)
	受付B 循環器内科	8診			ペースメーカー (2・4週)		ペースメーカー (1・3週)
		9診	近藤隆	交代制	交代制	近藤隆	細野
		10診	今井	上村	山下	富田	宮原
		11診	田ヶ原	早川	山田高	山田高	森
		12診				フットケア (2週・午後)	
	受付B 糖尿病・ 内分泌内科	13診	交代制(初診)	交代制(初診)	交代制(初診)	交代制(初診)	交代制(初診)
		14診	丹羽靖	丹羽靖	田實	田實	杉浦
15診		杉浦	山田努	山家由	山田努	山家由	
受付C 膠原病内科 リウマチ科	8診				水谷有 (初診)	初診枠なし	
	12診	小嶋 (初診)	初診枠なし	大島 (初診)	予約のみ (3週・午後)		
	17診	片山(午前) 高野(午後)	高野 (予約のみ)	梅村(午前) 平野(午後)	大島	片山(代診)(午前) 小嶋(午後)	
	18・19診	長谷川 (午後)⑨		高野⑩・ 水谷有⑨		長谷川⑩・ 梅村⑨	
受付C 腎臓内科	18診	松本 (午後・再診)	—	—	—	—	
	19診	稲本 (午前・再診)	中村(再診)	—	龍華(再診)	—	
受付D 脳神経内科	20診	小林	瀧田	梶田橋	原田	榊原	
	21診	武田	武田	交代制		龍見	
	22診	梶田橋(初診)	榊原(初診)	龍見(初診)	瀧田(初診)	原田(初診)	
腫瘍内科(2階) (化学療法室)	1診	吉田(再診)	加藤(再診)	北川(再診)	大脇(再診)	佐藤(再診) 山口	
	2診		小暮/船橋	佐古(再診)			
	初診	大脇・加藤	吉田・佐藤	佐藤・加藤	交代制	加藤・北川	
禁煙外来(2階)	特別診察室	—	当番制 (午後・予約のみ)	—	—	当番制 (午後・予約のみ)	
	緩和ケア内科 (2階)	特別診察室	稲田②/ 西堀①	船橋①	船橋① 近藤理 (外科外来)	稲田②/ 西堀①	
内視鏡室 (2階)	消化器	島田/村山 近藤高/ 宇仁田/ 恒川/藤田	島田(当番制) 近藤高/ 浦田/宇仁田/ 恒川/藤田	平嶋/齋藤/ 浦田/宇仁田/ 恒川/日比野/ 藤田	近藤高/ 宇仁田/ 齋藤/恒川/ 藤田	島田/平嶋 (当番制) 村山/齋藤/ 浦田/近藤高/ 藤田	
	呼吸器	BF(当番制)	—	—	TBLB(当番制)	—	
精神科(2階)	再診1診	—	—	末宗	—	—	
	再診2診	—	宮本	—	宮本	宮本	
脳神経外科 (2階)	1診	倉光	根来 (予約のみ)	交代制	交代制	須崎	
	2診	杉山	松野	江口		伊藤	
	3診	安藤		前澤 (11/8~)		江口 (1・3・5週)	
	4診	高橋					
外 科 (1階)	1診	片岡 (消化器)	服部正 (消化器)	加藤彩 (乳腺)	末永 (肝胆脾)	多代 (一般・肝胆脾)	
	2診	村上 (心臓血管・午前) 亀井 (形成2・4週午後)	鈴木 (一般・肝胆脾)	近藤建 (一般・消化器)	林孝・加藤彩 (乳腺)	林孝 (乳腺)	
	3診	羽田 (一般・消化器)	中山智 (心臓血管)	田嶋 (一般・消化器)	山家豊 (一般・消化器)	木部 (一般・消化器)	
	4診	森田 (乳腺・午後/再診)	児玉 (末梢血管) 4週以外・午後)	関 (呼吸器)	萩原 (心臓血管)	竹内 (心臓血管)	
	5診	山田勝 (3週以外)		竹田伸 (一般・消化器)	森田(乳腺)		
整形外科 (1階)	特別診察室						
	1診	家崎	平良	阿部	杉山	生田	
	2診	杉山	阿部	家崎	生田	平良	
	3診	—	浅井(リウマチ)	浅井(人工関節)	—	—	
	4診	佐藤(人工関節)	服部(リウマチ)	佐藤(リウマチ)	—	服部(リウマチ)	
	5診	服部(人工関節)		小嶋(リウマチ)	小嶋	小嶋(リウマチ)	
6診					風間(2週)		

※精神科では当面の間、初診患者の受入れを停止しております。

※ストマ外来…火曜1・2・3・4週 ※末梢血管外科は完全予約制です(13:30~15:30)。 ※形成外科(13:30~15:30)

診療科		月	火	水	木	金	
皮膚科 (3階)	1診	江畑	伊藤	伊藤	清水	伊藤	
	2診	池谷	池谷	竹原	大野	池谷	
	3診	日高	日高	江畑	日高	江畑	
	4診	—	—	—	竹原	—	
小児科 (3階)	午前	1診	二村 (初診・一般)	交代制 (初診・一般)	二村 (初診・一般)	交代制 (初診・一般)	田中 (初診・一般)
		2診	堀部 (血液・腫瘍)	堀部 (長期フォロー)			
		3診	前田 (長期フォロー)	前田 (長期フォロー)	前田 (長期フォロー)	前田 (長期フォロー)	前田 (長期フォロー)
		4診	後藤雅 (長期フォロー)	後藤雅 (循環器)	後藤雅 (循環器)	後藤雅 (長期フォロー)	後藤雅 (循環器)
	午後	1診	交代制 (一般)	二村 (アレルギー)	田中 (アレルギー)	交代制 (一般)	金子 (小児外科)月2回 交代制(一般)
		2診	堀部 (長期フォロー) 高橋 (カウゼル)	竹中純 (神経)			菊井/後藤雅 (乳児健診)
		3診	前田 (長期フォロー)	交代制 (一般)		前田 (長期フォロー)	高橋 (カウゼル)
		4診	後藤雅 (予防接種) 木村 (内分泌)月2回	後藤雅 (予防接種)	交代制 (一般)	後藤雅 (予防接種)	後藤雅 (予防接種)
遺伝(2階) 診療科	特別診察室	—	—	服部浩・ 田口・河合	—	服部浩・ 田口・河合	
	遠伝(3階) カウゼル	看護外来	服部浩・ 田口・河合	—	服部浩・ 田口・河合	—	
※遠伝診療科及び遠伝カウゼルは完全予約制です。 ※カウゼル予約枠：月曜1枠(13:00-14:00)、木曜2枠(13:00-14:00、15:00-16:00)							
耳鼻いんこう科 頭頸部外科 (3階)	1診 (初診)	加藤健・中田	寺西・神本	森永・神本	竹内佑	加藤健・神本	
	2診	森永・神本	森永	加藤健	中田 横井 (再診13:30-15:30)	中田	
	3診	寺西	竹内佑	竹内佑	加藤健	寺西(1・3・5週) 森永(2・4週)	
めまい・耳鳴り・難聴			中田(めまい) 加藤(耳鳴り・難聴)				
眼 科 (3階)	1診 (初診)	河合(1・3・5週) 重(2・4週)	服部友	近澤	岡戸		
	2診	岡戸	近澤	鳥居良			
	3診					手術日	
	4診		廣瀬		廣瀬		
	5診	服部友(1・3・5週) 小口(2・4週)	董(1・3・5週) 河合(2・4週)	服部友			
	6診	吉田統		久保田	久保田		
産婦人科 (3階)	1診	中西	吉田沙	熊澤	熊澤	中西	
	2診	稲葉	田中秀	稲葉	交代制	吉田沙	
※木曜の診察は、手術がある場合は1診対応となり、どちらかの医師の診察となります。産褥1ヶ月健診は、金曜日に行います。							
泌尿器科 (3階)	初診	鈴木知	交代制	平林	土井	吉野	
	再診	吉野	土井	鈴木知	伊藤	岩間	
	再診	吉澤	—	岡村		平林	
血液内科 (3階)	1診	永井	飯田	永井	飯田	足立	
	2診	足立	鈴木康	今橋伸	鈴木康	今橋伸	
	3診	南	安田	小暮あ	平野大	小暮あ	
	LTFU	飯田(1週)	飯田(2週)		飯田(3週)		
※LTFU：造血幹細胞移植後外来							
専門外来 (3階)	1診	笠原(4週以外) 伊藤公(4週)	小暮あ (12:00まで) 神田(午後)	今橋真 (14:00まで)	横幕 松下(3週午後)	横幕 渡辺(1週午後)	
	3診	小暮あ (14:00まで)	担当医 (1週・3週) 林(2週・4週)	担当医 (12:00まで)	小暮あ (12:00まで)	今橋真	
	初診	上嶋	渋谷	小田	交代制	成田/白井	
歯科口腔外科 (3階)	再診	渋谷	小田	渋谷	交代制	小田	
	再診	小田	上嶋	上嶋		渋谷	
	再診	成田	宇佐美	宇佐美		上嶋	
	再診	白井	成田/白井	白井		宇佐美	
放射線治療科 (地下1階)	初診・再診	宮川・加藤恵	宮川・加藤恵	宮川・加藤恵	宮川・加藤恵	宮川・加藤恵	
	診断	午前	宇佐見・ 安藤	宇佐見・ 安藤	大岩・ 宇佐見	大岩・宇佐見・ 安藤	大岩・ 安藤
		午後	宇佐見・安藤 大岩(午後3時~)	大岩・宇佐見・ 安藤	大岩・宇佐見・ 安藤	大岩・宇佐見・ 安藤	大岩・宇佐見・ 安藤
	X線TV5	午前		消化器	呼吸器	消化器	
	X線TV6	午後		耳鼻いんこう科(嚥下)	耳鼻いんこう科(嚥下)		
RI/PET		宇佐見	安藤	宇佐見	大岩	大岩	
超音波		大岩・ 森田(午前)	森田	大岩(生検)/ 森田	遠藤・須田 (乳腺)	—	
検診		大岩・須田	大岩・須田	大岩・須田	大岩・須田	大岩・須田	

◎外来受付時間 ○初診/午前8時30分~午前11時 ○再診/午前8時20分~午前11時

◎休日診 土曜、日曜、祝日、年末年始(12/29~1/3)

◎担当は都合により予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター